

地域医療構想に係るデータ分析の取組案

以下の取組案を予定しており、委員の皆様のご意見をいただきたい。

1 各種データ分析

地域医療構想調整会議などにおける検討に資するため、以下のデータ等を提示する。

(1) 疾患別の医療需要の推移

- ・産業医科大学「地域別人口変化分析ツール AJAPA」等を活用。

(2) 個別医療機関の診療実績の分析

- ・病床機能報告等のデータを活用するが、1ヶ月の診療実績しか把握していない事項があるため、別途、病院に対し年間の診療実績に係る調査を実施する。

(3) 急性期に係る対応可能な医療機関等

- ・脳卒中、心血管疾患の急性期に係る対応可能な医療機関について調査を実施する。

※上記データ等については、大分大学医学部の協力をいただきながら分析を行う予定。

2 地域の実情に応じた定量的な基準

- ・病床機能報告では、各病院の判断により主な病棟の機能を報告。
- ・報告した病床機能以外の患者も入院しているのが現状であり、病床機能の転換を議論するためには、病棟ごとの入院患者の状況を把握する必要がある。

↓

- ・令和元年度第1回調整会会議で提示した佐賀県モデルなども参考にしながら、再度、大分県の地域の実情に応じた定量的な基準の導入について検討していく。
- ・地域医療構想調整会議で協議し、次回の病床機能報告へ適用する。

3 各病院からのレセプトデータの収集

- ・地域医療構想による将来の病床の必要量(患者に対して行われた診療行為の1日当たりの診療報酬の出来高点数(医療資源投入量)により算定)と同じ基準で比較するため、各病院からレセプトデータの収集を行うことを検討。